

学校運営協議会だより

令和5年5月30日発行

令和5年度の学校経営・教育活動を承認

5月24日(水)15時15分から本年度第1回の学校運営協議会を開催しました。今年度から規定に則り構成委員を9名とし、管理職を含め11人での学校運営協議会として実施しました。

校長あいさつの後、自己紹介を行い、協議に移りました。協議では、校長から今年度の学校経営と教育活動について「学校経営グランドデザイン」や「校務分掌表」をもとに、また令和5年度の鹿児島市の事業として行う「探求学習」について説明しました。学校経営と教育活動について、委員の承認を得ました。

また、本校の学力・進路状況について校長から説明がなされました。さらには、GIGAスクール構想における本校でのICT機器の活用等について意見交換がなされました。次回(第2回)は7月13日(木)に実施する予定です。

【本年度の学校運営協議会委員】

本年度の委員は、以下の9人の方々です。

- ・瀬々串校区まちづくり協議会会長
- ・中名地域コミュニティ協議会会長
- ・喜入校区まちづくり協議会会長
- ・前之浜地域まちづくり協議会会長
- ・生見地域まちづくり協議会会長
- ・一倉地域まちづくり協議会会長
- ・主任児童委員
- ・保護司
- ・喜入中学校PTA副会長

【学校経営・教育活動についての説明】

学校経営について「校務分掌機構図」「学校経営グランドデザイン」をもとに、また、教育活動について「校長室だより」や「学校だより」をもとに説明しました。結果、全委員により承認されました。

【質疑応答・意見交換の概要】

Q 生徒が自分の意見を発信したり、学校から地域に向けて情報を発信したりすることは大切であると考えているが、どのようにして発信していくのか。また、学校への要望や苦情にどのように対応していくのか。

A 生徒には自分の意見を発信することの大切さについて、授業をはじめ様々な機会に話をしていく。校長が毎日行っている給食時の放送でも話題にしていく。また、学校から地域に向けた情報発信や要望等へは、きめ細やかに対応していく。毎月の学校だよりや学校ホームページも活用していく。

Q GIGAスクール構想における生徒1台のタブレット端末など、ICT機器の活用がうたわれている。ICT機器の使用は、教師の業務改善につながるのか。

A 業務改善に十分つながると考えている。学校の授業や日々の宿題をデジタルコンテンツを用いたことにより、授業準備の時間

や宿題の確認のための時間を削減できている。本校ではさらに推進していく。また、ICT機器は個別最適な学びの実現のために大変有効であると考えている。

Q ひとり1台のタブレット端末の家庭への持ち帰りは、いつから始まるのか。

A 今年度の生徒増に伴い、端末を再配備中である。配備完了と同時に持ち帰りが開始できるように準備を進めている。

Q ICT機器の使用に不慣れな生徒もいると思うが、そのような生徒が置き去りになってしまうことはないのか。

A 十分起こりうる事案である。状況によっては、ICT機器やデジタルコンテンツの使用に慣れさせるための時間を設けることも必須であると考えている。職員に対して、個に応じて丁寧に対応するよう指示を継続していく。

Q 部活動指導の地域移行はどのように進められるのか。また、中体連の大会等へは学校の部活動として出場するのか、もしくは地域のクラブチームとして参加することになるのか。

A 8月から運動部の部活動において、土日の指導について移行を行う。中体連の大会へ部活動のチームとして参加する場合は、学校の部活動として参加する。地域のクラブチームとして参加する方法もあるが、その場合は、年度当初に生徒個人により地域のクラブチームとして参加する旨の届出をすることになっている。

Q 部活動顧問の特殊業務手当は適切に執行されているのか。

A 全顧問が特殊業務手当の申請を行い、適切に事務手続きがなされている。

Q 学校の様子や校長の学校経営にかける思いが、地域により広く伝わるとよい。

A 学校だよりや学校ホームページを活用して広報を行っている。体育大会や文化祭などの学校行事での参観も有効な機会であると考えている。